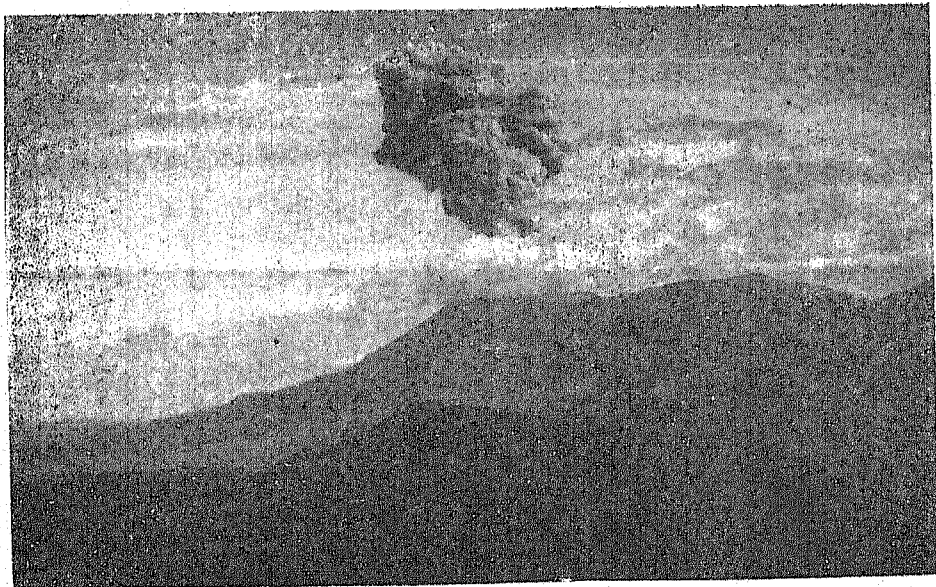


東京會報

昭和十七年七月二十五日

第十八號

社団法人東京會



目次

- △大東亞共榮圈 經濟建設の基調……………小泉 所(二)
- △滿の外觀と縱絲 成績との關係……………都野盆槍(三)
- △してやつたり……………味澤泰造(四)
- △俳 句……………六川水聲選(四)
- △戦線便り……………編輯部(四)
- 目崎少尉戦傷す……………編輯部(五)
- 戦線會員のために……………編輯部(五)
- △科學點描……………(六)
- ガイタミンの浪費……………(六)
- 古代日本人の食物……………(六)
- 廢物利用で天氣豫知……………(六)
- △母校便り……………(七)
- 第一回學生行軍競技會……………(七)
- 野球班對山梨高工定期戰に 輝く三連覇を遂ぐ……………(七)
- 蹴球部對長野師範戰に快勝……………(七)
- 東京高蠶對校試合……………(七)
- 文化部修練日の講演……………(七)
- 文化部の夕……………(七)
- 第一回文化講義……………(七)
- △本會記事……………(八)
- 本會日誌……………(八)
- 銃後資金應募者……………(八)
- 遠藤先生退官記念品受領報告……………(八)
- 會費領收……………(八)
- △就任辭令……………(九)
- △計 報……………(九)
- 有志弔慰金に對する遺族よりの禮狀……………(九)
- 弔慰金募集……………(九)
- 弔慰金報告……………(九)
- △會員動靜……………(一〇)

大東亞共榮圈經濟建設の基調

小泉所

大東亞戰爭勃發前に於ては、一つの希望に過ぎなかつた大東亞共榮圈の建設も皇軍の勇猛果敢な力闘によつて現實の事態となつた昨今に於ては、大東亞の經濟建設をさうするか、文化、宗教工作をさうするか等の問題に關し、極めて多くの論策が新聞、雜誌に發表されてゐることは周知の通りである。茲では其等の諸論策の内、國策の展開を理解する上に於いて、役立つと思はれる共榮圈經濟建設の基本方針も云ふべきもの二、三に就いて解説して見たいと思ふ。

大東亞の經濟建設は云ふ迄もなく大東亞戰に表裏一體をなしてゐる。大東亞戰に徹底的に勝ちぬくためには、大東亞の經濟が秩序的に能率的に再建されて行かねばならない。而も其れは戰前の状態に復歸する云ふだけではなくして、ヨリ高い目標に向つて推し進められねばならないのである。換言すれば大東亞の地域に亘つて自給自足經濟を確立するに共に住民をして文化的、經濟的にヨリ向上させ、且つ將來の國防上の要請を充足させるために、經濟建設は意識的に計畫的になされなければならないのである。それがためには自由經濟時代に見られたやうに、經濟的發展を自由に放任しておくわけには行かない。従つて大東亞經濟の建設は計畫的に秩序的になされて行くであらうが、然らば斯る計畫的建設は如何なる原則に従つてなさるべきであらうか。

藤山愛一郎氏は其の基本方式として次の三つの原則を掲げておられる。即ち適地適產の原則、自給自足の原則、地域的重點主義の原則之れである。以下之等三原則につき極めて簡単に説明しよう。

適地適產の原則

これは適地適產の原則に云ふが、政策的には、ある産業を興すにはその産業に最も適した地域を選んで興すべきだ云ふことを意味し、現象的に解釋すれば、産業云ふものは特に入爲的工作を施さなくとも、社會的、經濟的、自然的諸條件に於て最も優れた地域に自然に發生し發展するやうになる云ふことを意味する。後者の考へ方は云ふ迄もなく自由經濟的な考へ方であり、前者の場合は計畫經濟的統制經濟的な考へ方である。然しながら現實の問題としては、この二つの行き方が合致した場合に産業はヨリ急速に發展するのであり、例へば北鮮及び吉林省方面の化學工業、滿洲奉天地方の重工業等の發展は、其等の地域が其等の工業に最適地域であつたことは云ふ迄もないが、其等の工業が斯く速かに發展したのは、政策が其れを後援したからに外ならない。従つて或る土地に或る産業を發展させるためには一面に於ては或る土地が、原料材料關係から云つても、勞務關係から云つても、將又交通關係から云つても最適土地である云ふ基本條件と、及び其れを見究めて、其の發展を助長するための政策的援助がなければならぬ。

自給自足の原則

これは専ら國防上の見地から採用すべき原則である。云ふ迄もなく大東亞戰は極めて廣い範圍に亘つて構成されてゐる。従つて何時交通が遮斷され、物資の交流が阻害されるか分らない。従つて斯る場合に混亂を起すことなきやう、平時から、或る地域に於て、國防上、住民の最低生活維持に必要な資材だけは少くとも之れを自給し得る手段を備へておく必要がある。

地域的重點主義の原則

これは主に人口配分の必要上から生ずる原則である。云ふ迄もなく日本内外地を通ずる一億國民は大東亞民族七億五千を指導すべき貴重な人的資源である。東亞戰の政治軍事、文化、宗教、等々凡ゆる分野は日本民族に依つて指導されねばならないのである。さするならば限りある日本民族を凡ゆる分野に無差別に配置するわけには行かない。國家目的から見て重要度の高い分野から重點的に配分しなければならぬのである。

助がなければならぬ。従つて共榮圈經濟を建設するに當つても、この二面的工作が必要であるのであつて、一面に於ては果して或る地域が或る産業に最適地域であるか否かを、自然條件、社會條件、經濟條件等に就いて見究めると共に、それを見究めた後援することが必要である。特に最近のやうに資本勞務の移動が極度に拘束されてゐる時代に於ては、産業は基本條件に恵まれてゐなければ充分能率的に發展することは困難であるからである。

が、自足主義から云へば、不適地である山西奥地の鐵嶺山をば開發することが要請されるのである。この主義による産業政策は去る一月の議會に於ける政府の答辨にも、幾つもの例を見出し得るのであつて、他作物の犠牲による米麥作の増産、臺灣糖業の維持、滿洲オイルシェール工業の育成なき其の適例である。

從つて斯る見地からすれば、重要度の高い産業は日本民族の最も多く住する地域に配置し日本民族をして之れに従事させ、重要度の低い産業程、日本民族の分布密度の低い地域に配置して他民族をして之に従事させることが合理的である。

從つて斯る見地からすれば重化學工業、精密工業、主要食糧品産業等は當然日本内外地に立地させ、日本民族をして従事すべき産業の種類となり、粗工業、輕工業、其他の原料品産業等は日本内外地に立地させ、他民族をして従事すべき産業の種類となり。(以上)

て見るに次のやうな次第でした。

之は何かに役たぬだらうか、蘭長や蘭重
 この間に密接な關係が當然ある筈だが、
 さいふやうなこゝで机上の手懸みをやつ

比 蘭 重	度 數
.18	4
.19	26
.20	23
.21	3
度數均重 平比蘭重	56 .194

其のうちに繰繰成績其の
他が判りましたので關係
(單純相關を觀るわけに
止めた)を調べてみるに
下表の如くでして(表中
生絲量歩合の所までの項
目は蘭檢定の通りの調査
項目)

結局、調査が拙かつた
か計算に落度があつたの
を、豫期する様な結果を
觀るこゝが出来なかつた
しかも信頼少でした。或
値は極く僅少でした。或
は直線的關係以外の關係
があるのかも知れない。

此の結果から次の様に
概念することは許されて
もよいと思ひますが、如

何てせうか。

一、蘭重偏異係數の大なるものほぎ（さ）いふことは蘭重の不揃の度合の甚しきものほぎ。各般の成績は小なる。

二、蘭長比蘭重の單純相關係數大なるものほぎ各般の成績（但し一二を除く）は小なる。

三、蘭重比蘭重の單純相關係數この場合も同様。

四、蘭長比蘭重の單純相關係數大なるものほぎ各般の成績（但し一二を除く）は大なる。

傾向を示してゐる。

五、蘭形の大小不揃の度合甚しいものほぎ（蘭長偏異係數の大小について左様に換言し得るならば）生絲量歩合は少

なる傾向がある。
 もつこき有能巧妙な才腕の人にお願ひす
 ることが出来れば、何さか實用に願ひす
 のを把握して來るものにはあるまいか
 と思ふ。近年學校を巢立つ人々の行衛が
 うらめしくなります。
 此の一文、題目のつけやうがなくて、
 いかにめし名をつけたがそれは此の文の
 大きな部分を占むるものの名を探つた丈
 けで、凡人に愚痴多しで言ひたい愚
 痴の出所の一つを並べて見たまでのこと
 であります。
 金も必要だらうし、名も欲しからう。
 或は上の方から指圖があれば之に背く譯
 にもまるまい。がですネ、後に續く者
 がないとか僅少だといふことでは、母
 の門に連通する蠶絲の道にあつては、それ
 こそ「何が何でもやりぬくぞ」の意氣を
 以て「持場職場」を觀念して「いのちが
 け」の構へにある古い者どもはさうなる
 之は獨り上田謙導だけの問題ではないや
 うです。がネ、誰もが語つた話でせうかい
 ろう。話題の價值が失せてゐるのかも知れ
 ませんが、さうも私の胸だか腹の中だか
 には割切れないものが残るので敢て書き
 ました。一度茶呑み話の話題になりま
 せんでせうか。
 (筆者は絲十一回卒 蘭檢之所長)

隨

筆

味澤泰造

してやつたり

昨年の十二月五日頃から、日本海軍の水兵さん達が三々伍々打連れて、東京市内を樂しうに漫歩する姿が、何時にも多く見られる様になつた。誰しも主力艦隊が横須賀に入港して休暇が出たものと判斷して居た。之が軍の打つた一つの「で」であつたか否かは、吾等の知る所でないが、兎に角十二月八日にはあの歴史的な大詔が頒發され、米太平洋艦隊の主力は迅雷耳を徹ふに瞬なき電撃の前に再び立つ能はざる迄に叩きのめされて居たのである。

然るに此の宣戰の布告の前日即ち十二月七日の日、米英兩大使は某ゴルフリンクスに悠々クラブを振つて居たと言ふのだから、日本に戰意無しと看做して居たに違ひない。百歩を譲つて何れは戰争に見て居たにしても、十二月八日は全然知らなかつたことに間違はるまい。彼等のゴルフ行き水兵の銀座漫歩との間に何か關聯があつたか否うか知らぬが、兎に角結果から見ても、してやつたりと考へるのも一應無理は無からう。

西曆一千九百十四年八月五日午後一時イギリスはドイツに對して宣戰を布告した。これもゴルフに關係があるから妙だ。當時ロンドンに在るドイツ大使館はもとより、イギリス各方面に放つてあるスパイは、英國政府の要人の態度を細大に注意して居た。ところが、アスキスを初めロイドジョーデ以下の閣僚達は、手

を携へてゴルフに出かけた。此の閣僚連の態度は、イギリスに戰意無しとの報導となつてドイツに打電されたとしても無理はあるまい。然るに、ゴルフから歸つた翌日、英政府はドイツに對して宣戰を布告したのである。流石のドイツも面喰つたに違ひない。之は完全にしてやられた宣戰秘話として有名である。

さて此のゴルフであるが、此の位一般の人に誤解されて居るものがあるまい。大體輸入以後ゴルフの態度にも落度はあつたには相違ないが、決してブルジョアの閑戯として、片つけるべきもので無く、又彼等の専有物たらしめてはならないものだと思へる者、豈僕一人のみならんやと思ふ。中年以上の年輩人のこよなき運動娛樂と考へて居る。

第一金が無暗にかゝるやうに言はれるが、これは、やらない人の食はずらひ云ふものだ。少くともアノ方の遊び金とは比較にならぬ程安いものだ。尤も中には、アノ方はアノ方、ゴルフはゴルフといふ文武兩道の達人もないではないが、兎に角、健康問題を比較しただけでも、中老以上のオッサン連にまつて、至極結構なものであることは確實だ。若しそれ、其の興味の津々たる點に至つてはアノ方の樂しみ等とは比較にならぬ面白味があり、楊貴妃、クレオパトラが如何に精麗なるウイネクを送つたにしても、決してゴルフから離れられるものではない。言つたらゴルフの樂しさが見當つくだらう。第一アノ方の道樂と異つて後味が良い。食慾は出る。便通は良くなる。山妻の角も生へなくなる。いふ次第で、家庭も圓滿萬々歳である。

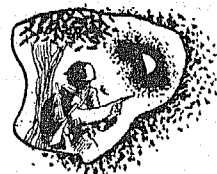
現在千曲會員のゴルフは僕の知つ

て居るだけでも、森田老(オコルナ)を筆頭に十二三名は居る。が、誰も仲間以外に餘り諜らないから、知る人ぞ知る程度だが、會報六月號に「私の趣味はゴルフ」を勇敢に名乗り出た先輩森田君のゴルフ熱は、年齢と共に旺盛なことから實は内心大いに驚異を感じて居る次第である。實はこんなものを書いたのも、あの私の近況(第十七號隨筆欄登載のもの)に、つい釣り出された形で、此の方でもハンディを付けられさうだが、時局も辨へず何を無駄口を叩く、文句があるなら一應大森の方角へ先に願ひ度い。但し孫の様な子供を抱けるのもゴルフの御蔭だ。回答されるであらうことを覺悟の上で、心臓が必要であることを附記して置く。

十七年七月五日記(筆者は絲五回卒)

俳句

六 川 水 聲 選
露一 池 田 滋
夕立する湖より白き鳥翔てり
夏草や高原の風に畫架ひらく
絲一 吉 村 甲子男
夕立暗れ原の子供ら虹呼べり
海苔小倉や海原遠く惜わたる
紫陽花の朝露重し陽の光
化二 窪 田 作 水
夕立の過ぎて静かな飯となる
化二 柄 澤 俊 信
雷鳴に驚くむ人の手のはやみ
夕立に蘇あがへりたるつゝじかな
化三 米 勢 皓 穂
雨に浮く矢車草の道行けり



目崎少尉戰傷す

大浙東作戦に参加し名譽の戰傷をされた。全快の一日も早からんことを祈り乍ら編輯部にもたらされた同君の手紙を掲載する。前略 傷付いた手も最近少しづつ動く様になり筆も休み／＼なら使えます。字もなつてゐませんが當時の様子を書きますから御判讀下さい。

五月〇日行動を開始してから六月二日受傷まで實に愉快な大迂回部隊として歩きました。〇〇に於て〇〇小隊長となり相手に不足の様な氣も致しましたが、準備と補給教育をして参加致しました。我々の〇〇は任務のため南方〇〇隊となり細〇より〇〇は任務の東〇武〇の線に敵を追撃突破を繰返し前進した前進しました。途中雨期に入り腰迄、又時には首の當り迄濡れて強行渡河をしました。殊〇攻撃の時は皇軍得意の夜襲を行ひ混戦、闊實に痛快でした。重迫撃砲、水冷式重機銃の他多數の武器彈藥をおき命からがらで敵は逃げ去りました。逃げた奴は運のよい方で大部分は殲滅されました。〇隊長殿の快心の微笑、戦利品を點検する兵の愉快そうな顔が眼に浮んで來ます。部下は突撃の方が早く形付いてよい等と笑つてゐました。金華攻撃も南より其の陣地の縱深と天然の利用には全く驚きました。トーチカ陣地等は實に綺麗に並んでゐました。敵も背後をつかれたので防禦の法もなくあわてふためいて逃げ去つてしまひました。市街地のトーチカは物凄い許

戰線
便り
編輯部

りて此の地が彼等の重要な要衝であつたことが判りました。威風堂々と入城した時は行軍の疲勞も何もわすれて嬉しかつたことは筆舌には現はし得ませんでした。一番乗りは残念にも正面部隊にされましたが、一時間と違はずに入城出来ました。此れから又休むこともなく急遽反轉して再び元の任務に山岳地帯を突破し、衢州の南方に飛び出し見事な包圍陣の完成に成功して大戦果を収めたことは紙上に於て御承知のことと存じます。小生不覺にも此の戦間に於て〇〇箇〇〇に敵弾命中し其の爆〇を受け顔面及兩前脚部に火傷を受けてしまひました。實に残念でした。でも迅速なる手當によつて攻撃を續行し目的任務を達成致しました。入城後前線參加不能となり残念乍ら空輪によつてこちらへ來ました。〇に乗つて進撃した時など一心同体なる部下を見て自然と涙が出るのも判りませんでした。愛する信頼する部下こそ隊長として心強いものはありません。敵彈下平然として〇〇機を拾つて攻撃をする兵を見る時自ら頭が下り自信力が沸いて來ます。こんな頼母しい部下にはどんなことでもしてやりたい氣が起きます。もう今頃部下は玉〇或は其れ以上の方面に進出してゐることとせう。今は治療に専心して速かなる回復と其の後の追撃を心に念じてゐます。前線の皆は非常な緊張と張り切り方です。兒玉少尉殿(靈二十五) 岡田少尉殿(靈二十五) にも出發前に合ひました。何れも今頃は活躍してゐることと思ひます。世紀の大戦争に參加出来る身の幸福で一杯です。新聞で見ると陸海空軍は南と北に大活躍を續けてゐる様ですね。

校長閣下初め諸先生方にも宜しく御傳へ下さる様御願ひ致します。各位の愈々御多幸ならんことを祈念致します。

(六月十二日出)

戦線會員のために

編輯部

此の二三日猛暑が続きます。銃後に於て北に南に、官に野にあらゆる戦場に活躍しておられる會員諸兄には益々御元氣のことと思ひます。夏尚寒き北邊に於て或は又酷熱瘴癘の南方に於て其れ〳〵の苦難をものともせず大東亞民族の幸福のために縦横の活躍をしてゐる皇軍將士の上に無限の感謝を捧げつゝ、頑張ります。

さてお願ひがあります。千曲會報は第一線に働く會員諸兄には母校や千曲會の状況を知り唯一のものであります。従つて前線會員は毎月の會報を首を長くして待つてゐる様子であります。吾々は此の期待に添ふべく努力してゐるものです。そして其の内容の如何は一つに銃後會員各位の御後援による外ありません。郷里や銃後の様子を知らしてあげることに前線勇士にどんなにか心強さを感じしめ、樂しみであることは御承知の通りであります。前線會員の居所を會報上に細かく載せることは當局から止められてゐるので會員各位が欲する所へ慰問状を出すことは出来ない場合があります。ありますが、本會報は前線會員にも全部送つてゐます(本會には居所がわかつてゐます)従つて各位の御執筆下さつたものは前線の全會員の手に渡ります。斯様に此の會報が前線會員各位に對する無上の慰問であることを考へます時、何を置いても此れを充實しなければ申譯がありません。僅かな品物を送るよりも内容のある會報を送ることがどんなにか満足されるかは前線會員各位の聲でもあります。どうか銃後會員各位には時局柄何かと御多忙のことではありますすが寸暇をさいて近況なり地方の状況なり、支會各位の活躍状況なり支障なき限りに於て御執筆願ひたいものです。前線各位の集約された言葉として切に〳〵に御願ひ致します。

此のことは又千曲會の聯絡、融和、向上、發展を計る上に於ても必要なことであります。毎月單なる事務的な記事や、些さかの科學的記事だけでは支會各位も閉口することと思ひます。此等の記事がほんの空欄の補充程度となつて始めて各位の御満足が得られることと思ひます。編輯部に於ても原稿の集約に就いては色々考へており毎月各方面に御執筆依頼状を出してゐます。此れは經費もかゝりますので其の數も僅かであります。どうか御願ひ申上げました各位には萬障御繰合せの上御執筆の程御願ひ致します。又御依頼申し上げてない各位にもこれから順に御願ひ致しますがどうかどしどしと御投稿下さる様願ひます。用紙は申越し次第急送致しますが有合せの便儀でも結構です。

此の様に各位の御執筆が前線會員勇士の無上の慰問となり千曲會發展の一翼ともなる一石二鳥の仕事ですからどうか宜しく御願ひ致します。向疊の候です會員各位には愈々御自愛の上御健闘の程祈ります。御執筆の要領を左記に掲載致します。大詔奉戴日に當り前線會員各位の武運の愈々長久ならんこと、並に大東亞の礎石として尊くも散つた英靈に深き感謝を捧げつゝ記す。

御投稿要領

- 一、簡單なる研究、論說、處世訓等は二千五百字以内(本會原稿用紙十五枚以内)
- 一、感想、隨筆、職場便り、職線便り等は二千五百字以内(本會原稿用紙十二枚以内)
- 一、支會通信、弔慰文其の他の雜信は適宜
- 一、短歌は原稿用紙二枚以内
- 一、俳句は五句以内
- 一、科學點描も序言に書いた(五月號)趣旨に添ふものなら結構です。から用紙二枚以内にて御投稿願ひます。

柔道班基金募集

拜啓時下盛夏の候各位益々御健勝之段率賀候

陳者母校柔道班は過去十數年來各地に轉戦致し東京高藏、松本高校、宇都宮高農、山梨高工等或は全國高農大會に於て連戦連勝の榮を續け居り候處昭和十四年東京工業大學主催全國高工專大會に出場二年連覇となへ居る現況に有之候

併て本年度大會は第三年目を迎へ此の勝利の歴史を永久に母校に残す可く班員一同猛烈なる練習を日夜續け居り候

時今や時局多難の折柄經費も意外に必要有之狀態に御座候何卒此の秋に當り内は全校一丸となり外は先輩諸兄各位の絶大なる御援助御同情と御鞭撻賜度伏して懇願申上る次第に御座候

敬具

記

- 一、釀出金額御隨意
 - 一、申込期限 八月末日迄
 - 一、送金先及方法 母校柔道班後援會 振替口座長野一四〇〇一
- 昭和十七年七月

上田蠶絲專門學校柔道後援會

先單各位殿

全國高工專大會始る

柔道大會は工業大學主催のもとに同學道場に於て来る八月六日より八日迄三日間に行はれる。各位の御聲援を乞ふ。

(3)

マクナスバイク博士の研究によると、ザイターミン含有食物が吾人の口に入る迄には次の様な浪費が起る。即ちキヤベツは煙から取つて店頭に並べられる迄に四〇％を失ふ。此つて買はれて愈々鍋に入れられる時は残つたザイターミンの二%が無くなり最初の含有量の四八%位残る。

其の残りのうち熱に破壊される部分は少ないが、此れを茹でて水を捨てる時に其の中に解け出してゐるのが、六五%もある。かくて食卓上に並べられた場合にキヤベツは最初で保有ウイタミン總量の七一%しか含有しなくなる。其れが又容器が長く熱せられてゐる様な場合には更に減少破壊が起きるから含有量は更に少なくなる。食物調理上注意すべきであらう。(ネーチュラ誌より)

考古學に依ると今より三千年以前も昔の日本最古の古代人である所謂第一期の縄文文化時代の人々の食物は何かと云へば山野に生ずる者は木の實、海邊に生ずる者は貝類を主として食べてゐた。例へばオニグルミ、ヒメグルミ、イヌガヤ、クリ、ヒシ、ヤマハンノキ、ウキヤガラ、ミヅナラ、フジ、イテフ、スギスジミトチノキ、カキ、タケ、アカマツ、モモ、ウメ、ス、キ等海川のものではパチイラサマエ、アカニシ、ミガキボラ、ベツカフイモ、ナガニシ、カヅラカヒ、テンゲニシ、シラナシ、ギンタカハ、レイシ、イタボガシ、クウキウサルボウ、カキ、其の他十數種ある貝類を如何に澤山食べてゐたかは貝塚（食物の不用部分を棄てた芥溜場の跡）に依つて判る。鳥獸や魚などを食べるやうになつたのは

文化が開けてからのことである。第二期の彌生式文化期には専ら農耕作物を食べ、第三期には土師祝部兩式の土器を作つた時代には前期作物と同樣の食物で暮らしてゐたやうであるが、作物を栽培する技術と調理法は前期より進歩してゐた。大體第一期は植物食よりも動物性食品の多くが攝取されてゐた傾きに比し、第二期以後は逆に植物食の方が珍重されてゐるやうな、あつさりしたものを好む日本人的な好みがある。（科學畫報から）

時局柄天氣豫報をラジオ等に依り大衆に傳へざる昨今、吾等農業者にとりては苦痛の一つである。小生は國民保健上に卵肉供給と増産資源たる肥料供給の見地から小養鶏を營む者である。極めて淺い體験だが天氣豫知上、一つの參考までに諸兄に知らす。

扱、廢物利用とは廢物となつた卵殼の内部に附着の液を指先にて探り、兩掌に塗りつゝ、直ちに顔を塗ること二三回繰り返し、其の乾き具合を感じ得し天氣の豫知をする利用方法である。

朝雨降りでも乾き方が割合に速く乾きがすつきりとこわごわになる場合は其の日の午後から翌日午前にかけて晴天で、又朝晴天でも乾き方がじめつきたる場合は、其の日の午後曇り翌日雨となる例多く、塗つた日の午後から翌日午前にかけての天候は凡そ豫知が出来る。其の當る割合は昨今の梅雨中の記録から見て八〇%を得た。

つまたぬ事ながら百聞一見に如かず、百見一實行に如かず。試みたり農蠶家の副業的養鶏者にて飼料の配給を要せざる者は卵の自給容易なるを以て、之が指導も無駄ではないと存する。勿論皮膚にも効果あり他出の場合には後刻拭き取ればよいことを附言する。

(蠶三回卒 松谷鑛之助氏寄)

東京市神田區錦町一丁目四
振替口座東京一
三一九〇番
手十錢入用一

	明石 弘	近代蠶絲業發達史	五、四〇
	石川金太郎	日本蠶絲學文獻集	六、八〇
	中澤辨次郎	蠶絲經濟概論	四、三〇
	志村茂治	生絲市場論	二、七〇
	森本宋	蠶絲業と國際經濟	一、七五
	野崎清	蠶繭の生産とその消費	六、〇〇
	入江魁	蠶絲業更生の途	六、〇〇
	永井淳雄	簡易法人養蠶實行組合の經營	一、五〇
	西田峯吉	乾繭取引の現狀と將來	七、〇〇
	早川卓郎	蘭特約取引の研究	一、〇〇
	五十嵐友幸	蘭特約取引と其本質	六、〇〇
	碓氷茂	蘭市場問題研究	六、〇〇
	同	產繭の自主的處理	六、〇〇
	西田峯吉	世界纖維界と蠶絲	二、二〇
	今村省三	製絲機に關するの特許發明及用新案摘錄	四、〇〇
	農林省蠶絲局	中小蠶絲業者の問題	一、〇〇
	碓氷茂	養蠶業收支採算法	一、〇〇
	早川卓郎	鮮滿の蠶絲業	一、五〇
	針塚長太郎	上田蠶絲專門窓會	三、八〇
	上田蠶絲專門窓會	蠶絲科學講演集第一輯	二、五〇
	同上	蠶絲科學講演集第二輯	二、五〇
	上田蠶絲專門干曲會	蠶絲科學講演集第三輯	四、〇〇
	東京高蠶	蠶絲學講座	一、五〇
◎農林省蠶絲試驗場			
蠶葉試驗場彙報（缺號は絶版）			
桑樹簡易接木法（其一）			四、〇〇
關係濕度早見圖			一、五〇
蠶卵電氣孵化の試験			一、五〇
沈綵綠絲線の索緒に關する試験			二、〇〇
桑樹葉縮病に關する研究資料			二、〇〇
紫兒緑の蠶兒白腫病に對する照射効力に就て			三、〇〇

[illegible]

會員動靜

(七月九日現在)

(但シ末尾括弧内ハ移動月日又ハ通知狀切手消印ニヨル)

- 矢澤茂登一 (蠶二) 朝鮮蠶絲統制株式會社(京城府旭町一ノ六三)(六月一九日)
登坂 忠吉 (蠶三) 日本蠶絲統制新潟出張所(新潟市古町通り四番町)(住)新潟縣北蒲原郡新發田町竹町(七月二日)
藤見 豊一 (蠶四) 日本蠶絲統制山口出張所(山口市新道)(住)山口市絲米(六月二七日)
小野 正男 (蠶六) (勤)ナシ(住)山梨縣南都留郡下吉田町(六月一三日)
新穂 利信 (蠶三) 威興公立農業學校(威興南道與南邑湖上里)(住)威興南道威興府出雲町二四六(五月三〇日)
鈴木 英夫 (蠶四) 日本蠶絲統制愛知出張所(名古屋市中區榮町一ノ一〇第百銀行ビル三階)(電話本局二四〇三)(六月一六日)
市村志眞衛 (蠶八) 新潟縣蠶業取締所十日町支所長(十日町)
關 博夫 (蠶三) 本校生理學教室(住)長野縣小縣郡東鹽田村大字古安會一〇七八
内藤 康三 (蠶五) 猿投農學校(愛知縣西加茂郡猿投村大字四郷)(住)岡崎市明大寺町字西郷三九ノ四(七月二日)
竹下 清 (蠶七) 南京日本高等女學校(南京羊皮巷)(七月七日)
今井 眞幸 (蠶一) 東部五二部隊(留守宅)岡谷市今井區一八六一
小穴潤一郎 (絲二) 澁澤商店閉業(因)五月三十一日退職(住)横濱市中區柏葉二九
矢田部忠吉 (絲二) 自營(船橋市本町三丁目一三三七)(六月一九日)
古郡 友一 (絲七) 六月三〇日死亡
富田 乙松 (絲八) 滿洲國開局省公署警務廳内、朝鮮總督府派遣員室(六月一七日)
清水逸五郎 (絲八) 日本蘭蠶維工業有限會社工場課長(東京市京橋區銀座三ノ三)(電話東京橋一六四)(住)横濱市間門町一ノ四一、電話本局三三六八
堀 久三郎 (絲四) 吳羽紡績工場(福島縣石城郡錦町)(住)東京市豊島區長崎町四丁目二四ノ一(六月二八日)
小口 伊祐 (絲九) 神榮製絲東京事務所(東京市日本橋區吳服橋二ノ五)(五月一七日)
本多 懋 (絲九) 永山農業學校(北海道旭川市外永山村)(六月二九日)
中村 達 (絲五) (勤)從前通り(住)廣島市古田町大字古江二九ノ三(六月一六日)
馬路 淑夫 (絲元) 龜山製絲本工場(三重縣龜山町)(住)龜山町(六月二九日)
奥野 芳男 (絲元) 豐橋陸軍教導學校(六月五日)
神林 清三 (紡四) 日本蠶絲工業聯合會檢査課長(東京市京橋區銀座西八ノ五)(住)横濱市中區北方町一ノ六八(六月一日)
勝田清三郎 (紡二) 滿洲蠶絲株式會社(奉天市大和區加茂町二三井ビル)(六月三日)
小林九十二 (紡七) 特許局第五課(東京市麴町區三年町一番地)
藤田きみ子 (教五) 柞蠶織維檢査所(安東市廣濟街)(六月一七日)
柳澤 豊子 (教五) 安達下改姓(住)長野市萬土手(六月)
中村田鶴子 (教七) 名古屋市昭和區永金町二ノ二五(六月二七日)(舊姓名萩原さかゝ)
米澤はじめ (教七) 滿洲柞蠶大陸科學院有機化學研究室(新京市)(住)新京特別市豊順街二〇二(六月二七日)
田村二三子 (教八) 富士電氣庶務課(神奈川縣川崎市)(六月一〇日)
藤澤 クニ (教八) (勤)ナシ(住)上田市大字上田四一九一(五月二八日)

昭和十七年七月二十五日印刷
昭和十七年七月二十五日發行

第十八號【非賣品】

千曲會指定旅館案内

旅 館 名	所 在 地	電 話	一室	二室	三室	四室	五室	六室	七室	八室	九室	十室	十一室	十二室	十三室	十四室	十五室	十六室	十七室	十八室	十九室	二十室
上田村館	信越前線	上田三四四番	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇
菅平ホテル	菅平高原	菅平 一番	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇
別館 望岳荘	菅平 一番呼出	菅平 一番呼出	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇
鐵道省山の家	菅平 一番呼出	菅平 一番呼出	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇	三、五〇
花屋ホテル	信州別所温泉(上田驛ヨリ電車ニテ三〇分)	別所 三三番	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇
柏屋別荘	別所 二二番	別所 二二番	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
笹屋ホテル	信州戸倉温泉(戸倉驛ヨリバスニテ一〇分)	戸倉特長 三番	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇
上田館	全	戸倉 二七番	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
清風園	全	上山田代表 五六番(別館) 三六番	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇	六、〇〇
圓山荘	全	上山田代表 五六番(別館) 三六番	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
目下交渉中		戸倉 二七番	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
名古屋		戸倉 二七番	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
京都		戸倉 二七番	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇
大阪		戸倉 二七番	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇	五、〇〇

發行所 上田蠶絲專門學校
法人 千曲會

千曲會
(長野県千曲市千曲一丁目一番地)
電話 六二四三番